



<2020年10月号>

160号 2020.10.01 配信

街を歩くと、時折心地よい風を感じるようになりました。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。COVID-19の影響が拡がる中、自粛生活の長期化や新しい生活様式への対応で、お疲れの方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。

「マイナスな事柄はポジティブ思考で捉え直し、将来良いことが自分に起きるという結果期待が、積極的な行動の原動力になる。」1年前のワーキングネットワーク秋祭りでの古川真人先生のご講演「楽しく生きる心理学」を思い出しました。

ウィズコロナの中、皆様がポジティブ思考で心身ともに健やかに過ごされますようお祈りしております。

## ■同窓会だより

### ◆2021年度光葉同窓会推薦入学試験について

昭和女子大学の卒業生が本学の入学を希望する受験生を、責任をもって推薦する制度です。推薦者が母校の教育方針に賛同し、自身の子供や孫、また近隣・知人にも昭和教育を受けさせたいと考え、そして対象となる受験生が本学の教育方針を理解し本学への入学を希望する場合にご推薦ください。

受付：10月1日（木）～9日（金）（土・日は除く）

受験者は光葉同窓会（03-3421-7713 11時～16時）へ連絡し面談日を調整する。

面談日：10月13日（火）～30日（金）（土・日は除く） \*調整のうえ日程を決定する。

◆光葉同窓会都奨学金（社会人入学）授与の大学院生 池口純恵さんが修士課程を終えられ、9月29日同窓会室にご挨拶に来られました。ますますのご活躍をお祈りしております。



◆2020年度ワーキングネットワーク秋祭りの開催・生涯学習活動は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しています。

◆第28回秋桜祭（テーマ『舞-100×2020-』）に光葉同窓会も参加します。11月21日・22日にオンライン開催となります。参加（閲覧）方法など詳細は、11月号でご案内いたします。

## ■学園だより

### ◆2020年度後期授業について

前期の授業は全期間をとおしてオンラインでの実施でしたが、後期の授業もオンライン授業を継続し、一部の科目（おもに実験・実習・演習科目）は新型コロナウイルス感染防止に十分留意しながら、対面授業を再開する予定です。また、状況によっては、全面オンライン授業となる可能性もあります。

## ◆2020 年管理栄養士国家試験結果

生活科学部管理栄養学科の合格率は、100%でした。おめでとうございます。

## ◆光葉博物館からのお知らせ

昭和女子大学創立 100 周年記念「徳川将軍家を訪ねて ―江戸から令和へ―」

第Ⅰ部 徳川幕府を創った家康と歴代将軍

2020 年 10 月 3 日(土)～10 月 24 日(土)

第Ⅱ部 女性によって継がれた徳川将軍家と井関隆子日記

2020 年 11 月 7 日(土)～12 月 5 日(土)

【開館時間】午前 11 時～午後 4 時【休館日】日曜日・月曜日・祝日

- ・ご来館時は、本学正門守衛室で展覧会のご見学とお伝えいただき、「見学証」をお受け取りになってからご入構ください。
- ・入構の際には検温、マスク着用、手指消毒など、感染防止にご協力願います。



## ■ 広げよう光の葉

岩崎 三恵子 さん

1969 年 国文科卒 (多摩支部)

### 「着付けの仕事」

私は昭和 36 年昭和女子大学中等部に入学し、高等部を経て昭和 44 年に国文科を卒業いたしました。中等部の時に放送部に入り、演劇にも興味を持っておりましたので卒業後も知り合いに誘われて朗読や演劇を続けておりました。

国文科卒業後、機械メーカーに勤務していた主人と結婚して、ヨーロッパに海外駐在を致しました。駐在中は着物を着る機会も多く、小さい頃から日本舞踊を習っていたこともあり自己流で着物を着ておりました。ある時、会社の集まりに着物で出席したのですが、社長夫人がさりげなく私の帯を直して下さいました。まだ結婚したばかりでしたので感謝をして直して戴いたのですが、次に駐在がある時は直して戴くこともできない年齢になっているかもしれないと思い、帰国後初歩から着付けの勉強をすることにしました。着付けを続けていくうちに、講師資格をとり、それから現在まで 30 年以上着付け講師の仕事をしております。

中等部の時から好きだった朗読もずっと続けておりましたので、朗読教室の先生からのご紹介で「NPO 日本朗読文化協会」の着付け講師になり、あちこちの朗読で舞台の着付けをさせて戴くようになりました。

3 年前から昭和女子大の国際文化交流でベトナムにご一緒させて戴き、昭和の学生さんやベトナムの方々に着付けをさせて戴きました。初めは着物に興味のなかった若い後輩の学生さんが短い旅でしたが帰国する頃には着物のたたみ方、帯のたたみ方など覚えて下さり、気持ち近くなって行く経験をさせて戴き、良い思い出になりました。

小さい頃から馴染んでいた着物と中等部から放送部に入っていた繋がりが一つになって現在の私の生活と仕事になっております。

【End】

## 図書館からお知らせ（昭和女子大学 HP より）

# 2020年9月25日(金)～2020年10月22日(木) 昭和女子大学創立100周年記念特別展・新収 貴重資料展 I -歌人馬場あき子氏の文化功労 者顕彰を祝して-

昭和女子大学は、この2020年9月10日に創立100周年を迎えました。図書館ではこれを記念して昭和女子大学創立100周年記念特別展・新収貴重資料展を、3回に分けて開催いたします。

第1回は、卒業生で歌人の馬場あき子氏の文化功労者の顕彰を祝して、馬場あき子氏に関する資料、新収の貴重資料の中から尾崎紅葉の二曲屏風と書簡、泉鏡花の印譜と書簡と作品、与謝野晶子の原稿と書簡、与謝野寛（鉄幹）の書簡を出陳いたします。

馬場あき子氏は、1948年に本学の前身である日本女子高等学院の国文科を卒業されました。学生時代の研究発表や、卒業論文のテーマがわかる資料を展示しています。馬場氏は、短歌と同時に喜多流宗家に師事し、能に対する造詣も深く、『晶子 みだれ髪』という新作能も創作しています。与謝野晶子に関する評論と共に展示しています。短歌雑誌「かりん」は、夫で歌人の故・岩田正氏と創刊しました。

尾崎紅葉二曲屏風には、全集にも収録されていない貴重な作品があり、紅葉愛用の原稿用紙が使用されています。泉鏡花印譜の小さな印は、本の検印に使用されたもので、『神鑿(しんさく)』と『婦系図』前編・後編の奥付に検印として押印されています。与謝野晶子の歌稿は、「国民新聞」に掲載されました。「批評は好悪なり」は、雑誌「電気と文芸」に掲載されたものです。与謝野寛の東京開成館編集部の曾武利三郎宛書簡には、鉄幹という号の使用についての考えも書かれています。

馬場あき子氏の業績や文学者達の貴重な資料をご高覧賜り、それぞれの息吹に触れていただく機会になれば幸いです。



### 展示観覧 事前予約制（一般の方）

新型コロナウイルス感染予防対策のため、展示観覧の際は事前に予約をお願いします。

昭和女子大学図書館展示観覧・見学予約フォーム

(<https://forms.gle/zmC7or2V7jkn288w8>) より、お申込みください。(図書館 HP「図書館展示案内」からもアクセスできます)